

北九州市土木構造物標準図集の取扱いについて（注意事項）

1 適用範囲

本書は北九州市が発注する土木工事に適用する。

2 構成

本書は、次の3編で構成している。

- ・道路編
- ・公園編
- ・下水道編

3 使用上の注意

- (1) 本書は、本市の土木構造物で標準的な施設について取りまとめたものである。取り扱いについては、地形等の条件を十分把握した上で使用すること。
- (2) 土木構造物設計にあたっては、本書のほかに土木工事共通仕様書等に掲載されている諸法令を遵守し、最新の関係示方書、指針等に準拠して行うこと。
- (3) 本書は、北九州市に帰属する。

4 各図面の見方と留意点

・目次

土木工事積算体系に基づき、工種、図面名称、細別・規格及び掲載ページから構成している。掲載ページは、章立てとし、各図面右下角の上段が章（工種）、下段が各ページを示している。

《例》

目次が、7. L型街渠工

図面名称	細別・規格	頁
L型街渠 W=37cm	LAB 交通 エプロン厚 15cm H=20cm	2

の場合、図面右下のページ枠には、

7	← 章（工種）と表記している。
2	← 各ページ

・改定年月（各図面右下掲載）

上段 前回 改定年月
下段 最新 改定年月

・参考図

二次製品等について、寸法、形状等がメーカーにより多少相違があるため特定の製品を図示できないが、利便性を考慮して、「参考図」または「参考資料」として掲載している。

製品の仕様にあたっては、参考図以外のものでも同等品以上であれば使用できるものとする。設計図書に参考図を使用する場合には、特別な理由のない限り「参考図」と明記すること。